

全学モジュール科目案内

テーマ名	14-A4 教育と社会		
テーマ責任者	藤本 登	責任部局	教育学部
対象学部	多文化社会学部・経済学部・薬学部・水産学部		
趣旨	<p>教員免許を取得するにあたり、学校教育教員にとって身につけておかなければならない教職についての教養として、教育や学校について理解し、基礎的な知識を修得します。また、教育者には幅広い教養を身につけることが求められます。必修科目であるモジュールⅠでは、教育の理念や歴史・行政と制度・教育課程にある児童生徒の心理等について学びます。そしてモジュールⅡでは、文学と社会・自然科学・芸術・環境・教育相談から自身の興味に応じて選択し、各分野について教育現場(学校や地域社会)との関わりから学んでゆきます。</p>		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育の理念並びに教育の歴史や思想について理解する。(モジュールⅠ)</li> <li>・教育行政・制度の意味を理解し、そのあり方について検討できる。(モジュールⅠ)</li> <li>・児童及び生徒の心身の発達や学習の過程について理解する。(モジュールⅠ)</li> <li>・自然科学・芸術・人文社会の各分野について、学校や地域社会における教育との関わりの中で理解を深める。(モジュールⅡ)</li> <li>・教養教育の全体目標を理解し、各科目の履修を通して関連目標の達成を目指す。</li> </ul>		
学生の皆さんへのメッセージ	<p>教員免許の取得を希望される学生は受講してください。モジュールⅠの科目及びモジュールⅡの「教育相談」は教員免許取得のための必須科目です。また、教育に興味・関心のある方も歓迎します。なお、本モジュールだけでは、当然ながら教師に必要な素養のすべてを得ることはできません。ここで得たものを糧にして、積極的に幅広い教養を身につけてください。</p>		

	科目名	担当者名	概要	キーワード
モジュールⅠ	教育原理論	関谷 融	教育(学)の基本概念について講義を行う。また、具体的に身近な事象や歴史的事象をもとに、現代の教育問題の枠組について講義を行う。	基本概念の有効範囲・「子ども」・「成長」・「理解」・「能力」
	教育心理	原田 純治	子どもの発達(発達障害の内容を含む)、学習過程とその動機づけ、パーソナリティと適応、教育評価の主要4領域、さらには教師の心理、学級集団の心理について講義を行う。	発達、学習、パーソナリティ、教育評価
	教育行政・制度論	江頭 明文	教育行政組織や教育法規等の講義を通して、公教育の組織原理と理念等についての基礎的知識を習得するとともに、身近な事例をもとに、我が国の教育行政・制度に対する理解を深める。	公教育の原理と理念、教育行政組織、教育法規
モジュールⅡ	教育相談	谷口 弘一	フォーマルなサポートであるカウンセリングとインフォーマルなサポートであるソーシャルサポートについて説明できる。学校・家庭場面において、効果的な援助が提供できるようになる。	カウンセリング・ソーシャルサポート・ピアサポート・スクーリングサポートネットワーク
	教育相談	内野 成美	教育相談の意義や過程、児童生徒理解の領域と方法、教育相談を行う際の教師としての留意点などの知識や理解を深める。また、演習も踏まえながら教育相談の実践的な技法を学ぶ。	教育相談・生徒理解・予防的・開発的カウンセリング
	文学と社会	堀井 健一	ヨーロッパ文化を理解するための教養としての古代ギリシアについての知識を学ぶ。到達目標は、西洋の古代ギリシアの歴史と文化の特徴を説明できるようにすること。	古代ヨーロッパ、歴史、文化

身のまわりの科学	大庭 伸也	ヒトが最も興味を持つのは、私たち自身、つまりヒトのことである。この講義では、生物が地球上に誕生してから現在に至るまでの進化の過程を理解する。そして、進化の視点でヒトという動物を科学的に考察し、ヒトの本質を考える。	行動学、進化生態学、自然選択、性選択、適応度
芸術	菅野 弘之	美術における表現の喜びや感動を学ぶ。実技を絡めながら、人間を日常的なしほりから開放したり、身近な環境との出会いや交流を可能にしたりするような自由な発想、多様な表現方法を探る。	工芸、現代美術、デザイン、創造、セルフエスティーム
環境と社会	藤本 登	環境と社会(私たちの暮らし)の繋がりについて、環境教育の視点で見つめ直し、持続的に生活や社会制度の改善に寄与できる能力を身につけることを目的とします。そのために、環境基本法や環境教育の歴史的変遷を踏まえ、現在世界的に進められているESDの理念と実践を学ぶことで、現在求められている人物像や社会の在り方、必要な技術、制度について論究し、日本の環境と社会、そして自分との関わりのあるべき姿を探ります。	環境教育、ESD、LCA、環境問題、他者理解、環境基本法

全学モジュールの目標 キーワード、および授業編成の視点との対応	技能・表現						知識・理解			態度・志向性				※授業編成の視点			
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	A	B	C	D
	① 自主的探究	② 批判的思考	③ 自己表現	④ 行動力	⑤ 日本語コミュニケーション力	⑥ 英語コミュニケーション力	⑦ 基盤的知識	⑧ 環境の意義	⑨ 多様性の意義	⑩ 社会貢献意欲	⑪ 学問を尊敬する態度	⑫ 自己成長志向	⑬ 相互啓発志向	A 哲学的な切り口	B 歴史・略史を扱う	C 現代的な話題を取り入れる	D アクティブラーニングの活用
教育原理論	○	◎					◎			◎	○			◎	○	○	
教育心理	◎	○	○		○		○			○	◎	○	○			◎	○
教育行政・制度論	◎	○			○		◎			○	◎			◎	○	◎	○
教育相談	○	◎	○	○	○	○	◎			○	◎	○	○	○		◎	○
教育相談	○	○	○	○	○		○	○	○	◎	○	◎	○			◎	
文学と社会	○		○		◎		○		○		◎		○	◎	◎	○	○
身のまわりの科学	○	○					◎	◎	◎		◎		◎			◎	
芸術	◎	○	◎	○			◎			○	◎	◎	○		○	◎	
環境と社会	◎	◎	◎	○	◎		○	◎	◎	○	○	○	◎	○	○	◎	◎
◎(特に重要)の数	4	3	2	0	2	0	5	2	2	2	6	2	2	3	1	7	1
○(重視)の数	5	5	4	4	4	1	4	1	2	5	3	3	5	2	4	2	4

※工学部・水産学部に係る JABEE 項目